

1号機CS（A）系テストライン他の配管表面線量の 測定結果について

2022年6月30日



東京電力ホールディングス株式会社

1. 概要

- 1号機S/C取水設備設置に向けたS/C内包水のサンプリングのため、取水口の候補であるCUW配管及び周辺の線量測定等の現場調査を実施（6月2,3日）。
- CUW配管に近接するCS配管の表面線量を測定したところ、以下を確認。

CS (A) 系テストライン※1 (CS-24) : 約50mSv/h

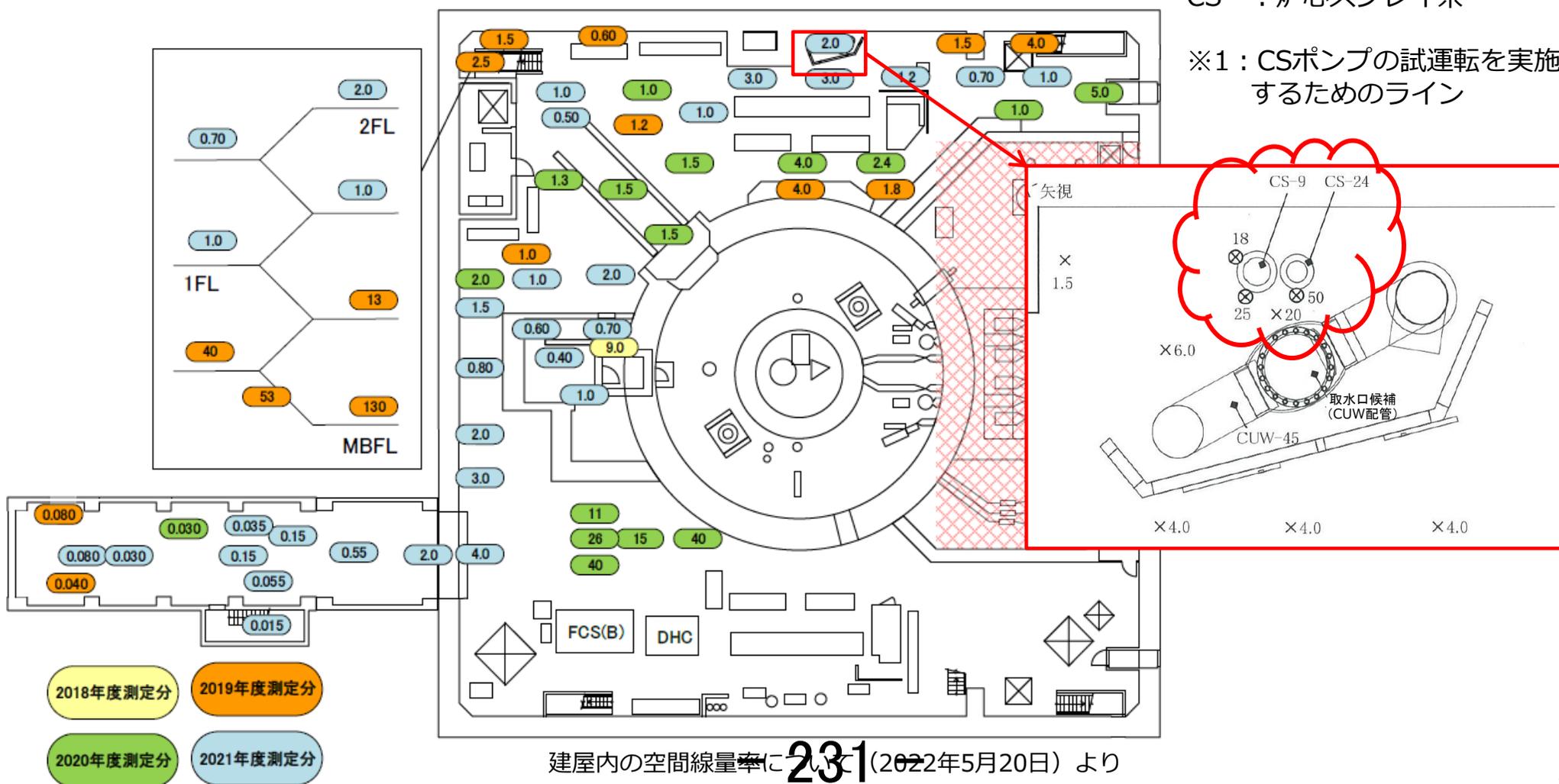
CS (A) 系ポンプ出口ライン (CS-9) : 約25mSv/h

S/C : 圧力抑制室

CUW : 原子炉冷却材浄化系

CS : 炉心スプレイ系

※1 : CSポンプの試運転を実施するためのライン

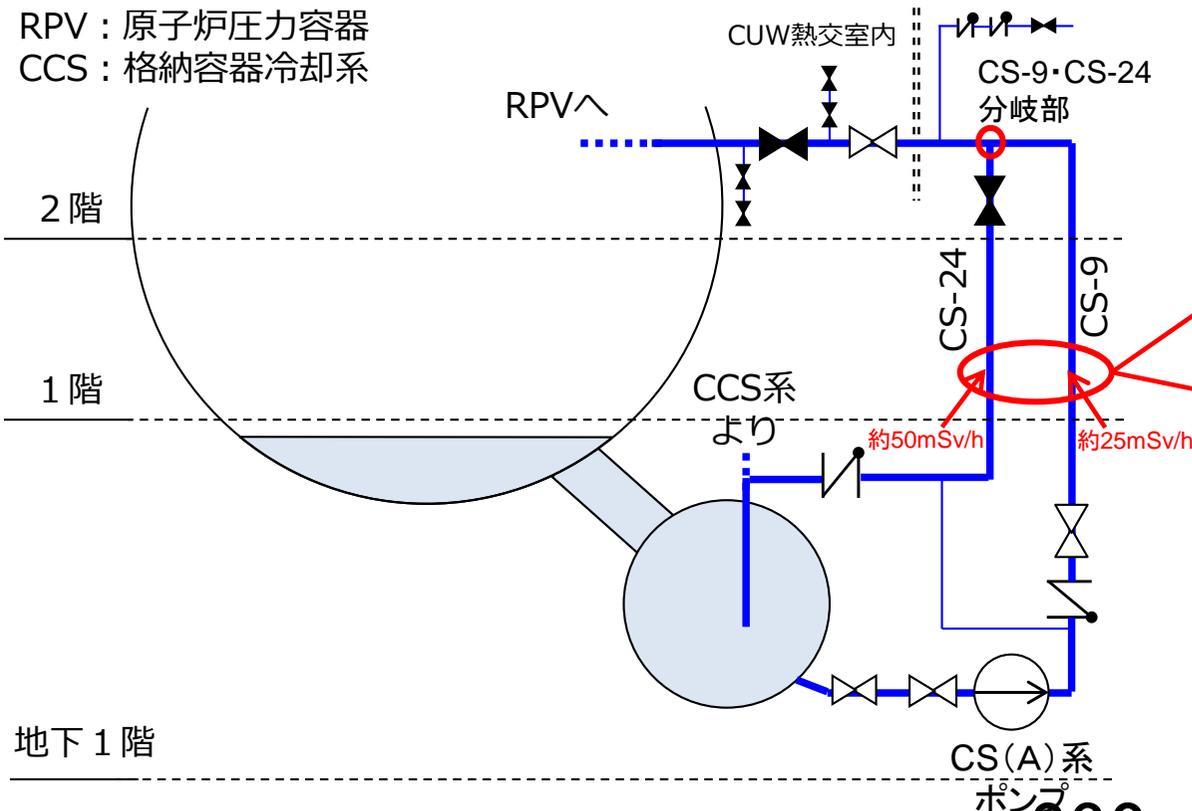


2. 1号機CS (A) 系配管の系統状態

- CS (A) 系ポンプ出口ライン (CS-9) は、S/Cを水源としRPVに注水するライン。CS (A) 系テストライン (CS-24) は、CSポンプの試運転のため、CS-9からS/Cへ循環運転するライン。
- 当該配管が高線量である要因として、RPVまたはS/Cからの核分裂生成物 (FP) の移行が想定されるが、RPVからFPが移行しやすいCS-9※1よりCS-24が高線量であるため、S/CからのFP移行が考えられる。

※1 CS-9・CS-24分岐部からCS-9の線量測定箇所までは、仕切弁が無いため。

RPV：原子炉圧力容器
CCS：格納容器冷却系



現場配管状況 (下図矢印より見る)

